

オープンソースは セルベツサから始めてみよう？

オープンソース ビジネスアプリケーション セルベツサの誕生と歴史



IT 経営応援隊
経営者研修会公開
セミナー



2005.11.2

株式会社ニュートーキョー 財務部 情報システム室 室長 湯澤 一比古

k.yuzawa@newtokyo.co.jp

お話する事

セルベッサの誕生と、その歴史

- オープンソースのおさらい
- セルベッサの概要
- セルベッサの歴史
- 何故オープンソースに？

ユーザ企業の方々へ

- この指とまれ
- 裸の王様じゃあ駄目
- オープンソースも自己責任
- ASPはオープンソースが安全

情報企業の経営者の方へ

- ソフトウェアは財産か？
- 読まれないソフトは死んでいる
- システム開発はデザインハウス方式で



オープンソース おさらい

独占禁止法が発端？



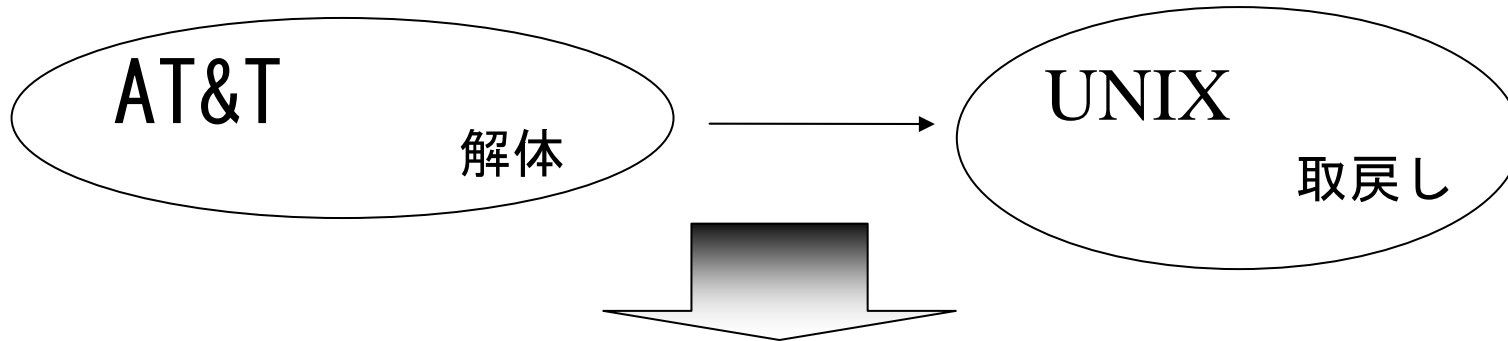
UNIX

ケントンプソン
Ken Thompson

ベル研究所 独占禁止法

ソースコードが各地の
大学に

オープンソース おさらい



自由に使えなくなった技術者達の抵抗

リチャード・ストールマン

FSF

GNU

GPL

<http://www.fsf.org/>

- 使用する自由
- 研究する自由
- 改変する自由
- 配布する自由

オープンソース おさらい

ビジネスに使おうと言う宣言

エリック・レイモンド



3 部作

- 伽藍とバザール
- ノウアスフィアの開墾
- 魔法のおなべ

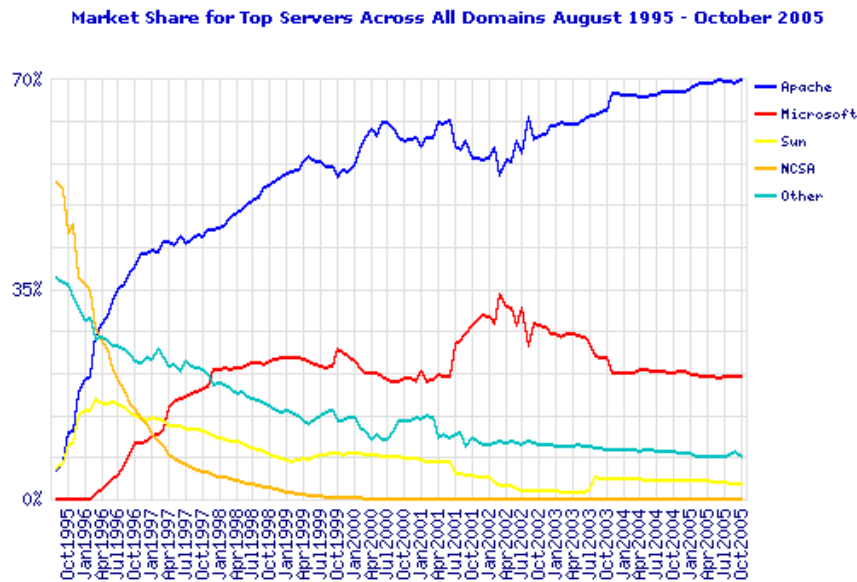
OSI

<http://cruel.org/freeware/cathedral.html>

<http://opensource.org/>

オープンソースが インターネットを支えている！

http://news.netcraft.com/archives/web_server_survey.html



Apacheが断
然群を抜い
ている

Top Developers

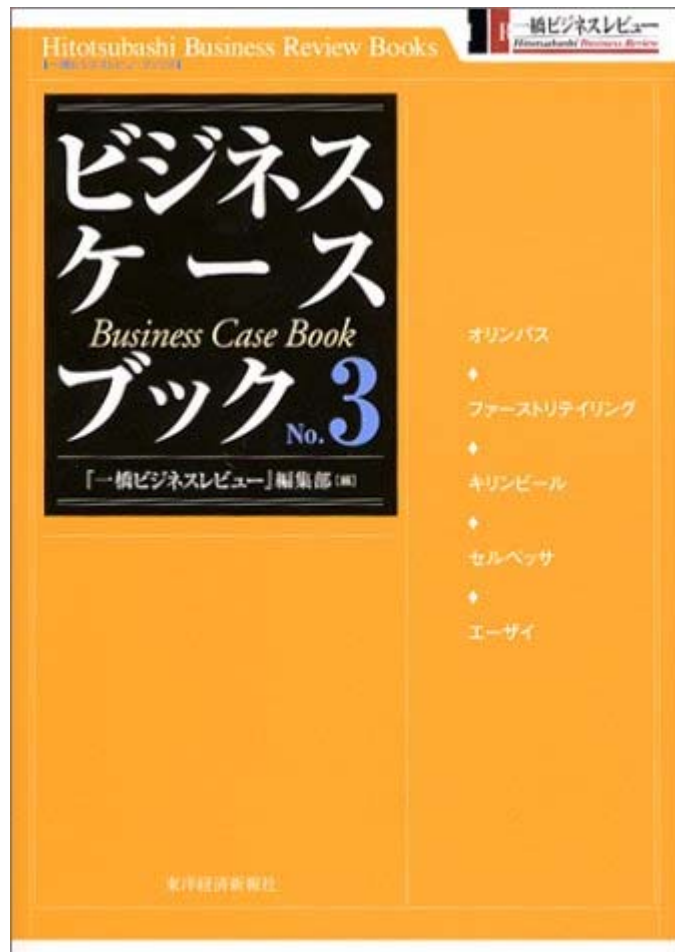
Developer	September 2005	Percent	October 2005	Percent	Change
Apache	49598424	69.15	52005811	69.89	0.74
Microsoft	14601553	20.36	15293030	20.55	0.19
Sun	1868891	2.61	1889989	2.54	-0.07
Zeus	584598	0.82	585972	0.79	-0.03

[More...](#)

Posted by wss at 08:40 AM UTC on Oct 4, 2005 in [Web Server Survey](#) | [Link to this article](#) | [Subscribe](#)



セルベッサはオープンソース



- Web受発注システム
- Linux & Java
- ユーザ主導のオープンソース

『一橋ビジネスレビュー』
ビジネス・ケースブック 3
に客観的で、詳しい経緯が載っ
ている

Cerveza

スペイン語でビール



セルベツサ は

ニュートーキョーが作った、 飲食店向け受発注システム

ビールと言えば ニュートーキョー

創業 昭和12年6月9日
資本金 3億6千万円
年商 約200億
店舗数 120店舗



本店：有楽町マリオン向

<http://www.newtokyo.co.jp>

Cerveza

開発の狙い

受発注システムの無い
外食チェーンは存在できない！

食品の安全性に対するニーズの高まり

- 狂牛病(BSE)
- 鶏インフルエンザ
- トレーサビリティ



Cerveza

開発の狙い

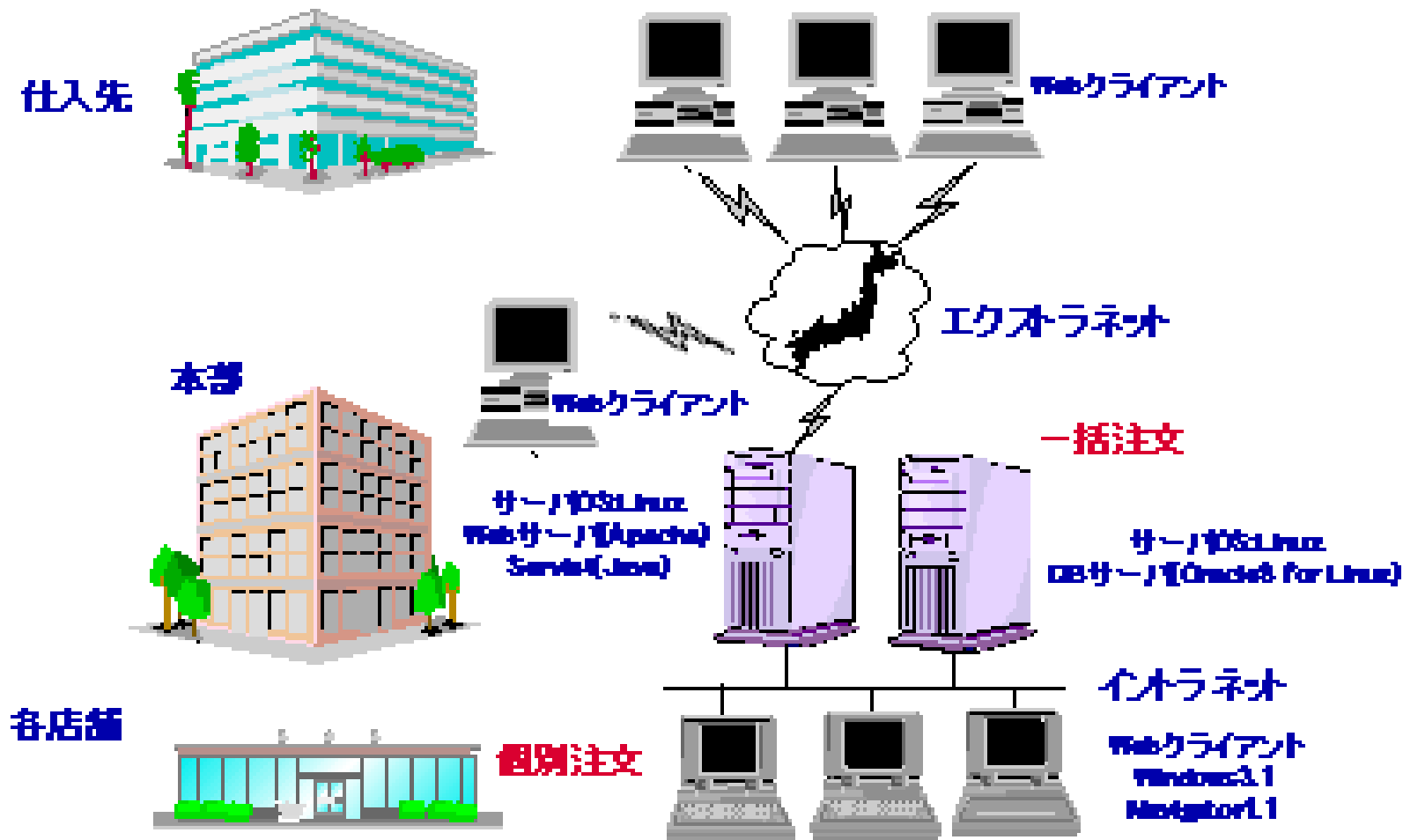
物流センターの有効利用

- 受注の合理化
- 共同配送の推進



Cerveza

システム概念図 稼動開始当初



それでは歴史を



A Brief History of Cerveza

<http://www.newtokyo.co.jp/serveza/>

A Brief History of Cerveza

1992年頃

チェーン運営の効率化を目指し
外食向け総合システムをテスト稼動

システム化の三つのポイント

- 売上分析
- 勤怠管理
- 食品物流



A Brief History of Cerveza

1995年頃
パッケージソフトの評価

相手があるシステムは止められな

食品物流の

受発注システムだけが

継続稼動



A Brief History of Cerveza

パッケージソフトは嫌だった

海外製品

- 生きた業務知識
- サポートが不安
- 高価

国産製品

- カスタマイズ前提
- 金額が見えない

そして割り切れないものが ..



パッケージ利用時の課題



アイデアを牢獄に
入れたくない

パッケージソフトの著作権は
追加開発部分を含めてSierのもの。

A Brief History of Cerveza

1998年2月

テンアートニ社との出会い

オープンソースが
インターネットを支えていた

オープンソースが
ビジネスになって来ていた



A Brief History of Cerveza

オープンソース開発で 期待される効果

- 開発者のモラルアップになる
- 外注先とWinWinのビジネスが出来る
- 開発後のメンテナンスに掛かる費用を落とせる



A Brief History of Cerveza

1998年10月
セルベツサのプロトタイプを開発

Java + Linux

- Webアプリケーション
- Java Servlet (BlackDown)



A Brief History of Cerveza

1999年7月

セルベツサが社内で本格的に稼動
三井食品のセンターへの発注で利用

受発注システムには多くの人に関わる

- 多種類の受発注システムが導入されると不便
- 物流コストを下げるには上流の効率化も必要
- パートナーとアライアンスを組みやすい
- 多くの人に使ってもらった方が得



A Brief History of Cerveza

1999年11月 オープンソースとして セルベッサを発表

- 日経BP社のセミナーで発表
- 株式会社テンアートニ
株式会社トップマネジメントサービス
2社の共同発表
- 開発者を中心に200名近くの聴講者

<http://www.10art-ni.co.jp/news/press19991101.html>

<http://www.10art-ni.co.jp/>

<http://www.tms-px.co.jp/>



A Brief History of Cerveza

セルベツサの普及



- 2000年 5月 アウトバックステーキハウス
- 2000年 9月 WDI様 カプリチョーザ
- 2000年10月 大戸屋
- 2001年 4月 ダイナック
- 2002年12月 浜木綿
- 2003年12月 R&D外食ネット

敬称略

A Brief History of Cerveza

多様性が育つ

2003年3月
ダイナック



セルベツサのDBをPostgreSQLに変更

- 色々なユーザーが多様性を提供してくれる
- システムのビジネスロジックは生き残れる

無償でプログラムソースを 配布するのは何故？

利用者が少ないソフトウェアは割高

- システムは使って初めて鍛えられる
- 利用技術は利用者数に比例して発展
- 保守費用は結果的に利用者にシェアされる



無償配布以外の 利用者を増やす為の方策

パッケージ販売を検討しなかった理由

- 購入者のメンテナンス要求やカスタマイズのニーズに応える体制がない
- 販売費に開発費以上のコストが掛かる
- 本業以外でビジネスは難しい



無償配布以外の 利用者を増やす為の方策

共同開発制にしなかった理由

- 打ち合わせの負担が大きい
仕様の決定
費用の分担
- 協同著作権はビジネスに不向き
- 責任の所在があいまいになりやすい



オープンソースを 増やしたい

<http://www.oscar.gr.jp/download.php>



OSCAR
ALLIANCE

HOME

About OSCAR

活動内容

入会申込み

ダウンロード

OSCAR Alliance [ダウンロード](#)>

GARAGARDOAダウンロードサイト

[>>こちらからどうぞ](#)

フランシーヌ・ダウンロードサイト

[>>こちらからどうぞ](#)

ペンギンオフィス2・ダウンロードサイト

バージョン2.0.1に更新
[>>こちらからどうぞ](#)



それぞれのダウンロードサイトからパッケージがインストールできます

オープンソースを増やしたい



OSDN: ニュース - 日記 - 文書 - イベント - RSS - 広告掲載

検索: ソフト/グループ

Linux Kernel Conference 2005

11/10(THU) チュートリアルプログラム
11/11(FRI) カンファレンスプログラム

東京都港区
青山ダイヤモンドホール

URL: <https://sourceforge.jp/ads/cgi-bin/adkeep/index.cdev1005/>

SourceForge.jp

ログイン
アカウント作成

あなたの力で世界を変えてみませんか?

SourceForge.jp は、オープンソース・ソフトウェアの開発者に CVS/リポジトリ、メーリングリスト、バグ追跡システム、掲示板・フォーラム、タスク管理システム、Webサイトホスティング、リリースファイルのダウンロードサービス、永久的なファイルの保存、完全なバックアップ、シェル環境、コンパイル・ファーム、そしてそれらを Webベースで総合的に管理するプロジェクト管理を行う環境を提供する無料のサービスです。

開発への参加
SourceForgeを最大限活用する必要があります。ユーザー登録し、既存のプロジェクトにプロジェクトを登録してみてください。我々が提供するすべてのサービスが、登録しなくても利用できますが、その利用に制限があります。

より良い環境構築のために
SourceForge.jpの運営には、さまざまな開発環境、報告に積極的に参加して、運営に貢献してください。また、SourceForge Enterprise Editionは、SourceForge.netと比べて

この SourceForge.jpは、90,000 以上のオープンソース・ソフトウェアと100万人以上の開発者が登録されています。概念的には SourceForge.net の兄弟として誕生しました。概念的には SourceForge.net と同一ですが、日本語での利用を最優先に考えた国際化ならぬ日本語化を行っています。あなたも日本から世界に広がるソフトウェアを創造してみませんか?
[SourceForge.JP サービス詳細]
[SourceForge.JP FAQ]

販売管理・購買管理・在庫管理が出来る。シンプルで使いやすい。Web業務アプリケーション・システム。ユーザと PostgreSQL を利用した Webシステムなので、企業など多人数の担当者が使えることも可能。自由に自分でサーバーを立ち上げてご利用に利用することも可能。インストール・アップグレードの army を使っているので、カスタマイズの容易な構成になっている。

Olut

販売/在庫管理 Webシステム

販売管理・購買管理・在庫管理が出来る。シンプルで使いやすい。Web業務アプリケーション・システム。ユーザと PostgreSQL を利用した Webシステムなので、企業など多人数の担当者が使えることも可能。自由に自分でサーバーを立ち上げてご利用に利用することも可能。インストール・アップグレードの army を使っているので、カスタマイズの容易な構成になっている。

SOURCEFORGE.net SOURCEFORGE.jp

<https://sourceforge.jp/projects/olut/>

この指とまれ方式

パッケージ販売などで利用者を増やすのは
リスクが大きい。

共同開発は、打ち合わせなどの為に
使う時間や労力が膨大になりがち。

子供は、遊びをどうやって決めるか ..

「この指とまれ」

ユーザ企業の方々へ





裸の王様には なりたくない

ユーザー企業はどうやった
ら開発してもらったシステム
の妥当性を検証できるのか。

ユーザ企業の方々へ

裸の王様になりたくない

開発委託をするなら、オープンソースにして、
ソフトウェアの出来を広く世に問うべき。

同じ開発でも、建築等の方がシステム開発より
分りやすいのは何故。



ユーザ企業の方々へ

オープンソース も 自己責任

- ソフトウェアパッケージの利用は自己責任。
- 普通、保証の範囲は、支払った金額まで。

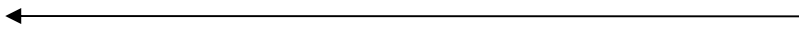


ユーザ企業の方々へ

オープンソースは 危ないんでしょう？



自己責任のトリック



No!

オープンソースについては、著作権とか、自己責任だとか色々と気になる。

では、今我々が使っているソフトウェアの契約は、本当にユーザーに有利な契約なのか。

ユーザ企業の方々へ

A S P 利用時の課題

死が二人を

分かつまで・・・？



A S P を利用するなら、
別れの時も思い描け。

オープンソースを活用した A S P なら、
傷つけあわずに、さよならが言える。

ユーザ企業の方々へ

オープンソース

その要点は「ただ」ではない

だいいち、只とは限らない



ボランティアは
奉仕活動じゃない、
有志活動だ！

ユーザ企業の方々へ

ソフトウェアは財産か？

開発担当者の退職で、メンテナンスが出来なくなった事はないか？



開発実績があるシステムのドキュメントをきちんと保管・管理しているか？

OS等の動作環境の変化で、売り物にならなくなったソフトウェア製品はなかったか？

情報企業の経営者の方へ

読まれていないソフトは 死んでいる

保守を引き受けるなら、
何時も誰かが読んでいなければ駄目。

読むにもちゃんと時間が掛かるが .. 。

仕事か？ 研修か？



情報企業の経営者の方へ

システム開発はデザインハウスで

システムは
工業製品に近いか、
芸術作品に近いか。

芸術作品を生み出す為には、
どんな「場」が必要なのか。

- アトリエ や サロン
- デザインハウス

情報企業の経営者の方へ



システム開発はデザインハウスで

長く育て行けるシステムへ

- システムを育てて行けるのは開発者だけ。
- 多くの人々の目に触れれば良い物が残る。
正義は勝つ！



情報企業の経営者の方へ

システム開発はデザインハウスで

チームワークって
呑む事じゃないでしょ？

チーム開発の新しい形として、オープンソースは使える。企業を超えたコミュニケーションがシステム開発のスピードを変える可能性がある。



情報企業の経営者の方へ

社会的な課題



全国の図書館には 一つのシステムで十分

公官庁や地方公共団体が主体となって自ら開発したソフトウェアはオープンソースで公開すべき。

このソフトウェアは、国民のもの、
県民のもの、市民のもの。

良識ある方々へ



全てを解決する特効薬がある

オープンソースに
してみたら？



本になりました



オープンソースじゃなきや 駄目

イデア出版局

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4900561150/>



ご清聴ありがとうございました



オープンソースソフトウェア協会

<http://www.ossaj.org/>



OSCARアライアンス

<http://www.oscar.gr.jp/>

ご意見のメールをお待ちしています

K.Yuzawa@newtokyo.co.jp